



出水学区内には、こみち（幅の狭い道）がたくさんあります。こみちは、風通しや日当たりなどの住環境に影響があるだけでなく、災害時には消

災害に強いまちの実現に向けて

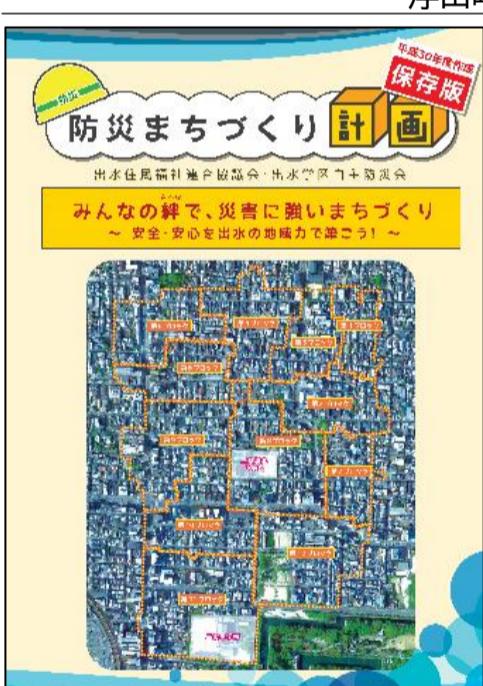
**細い道を拡げる整備が各所で進んでいます。**

火・避難・救助の支障になることがあります。そこで、道路後退部分を、拡幅・

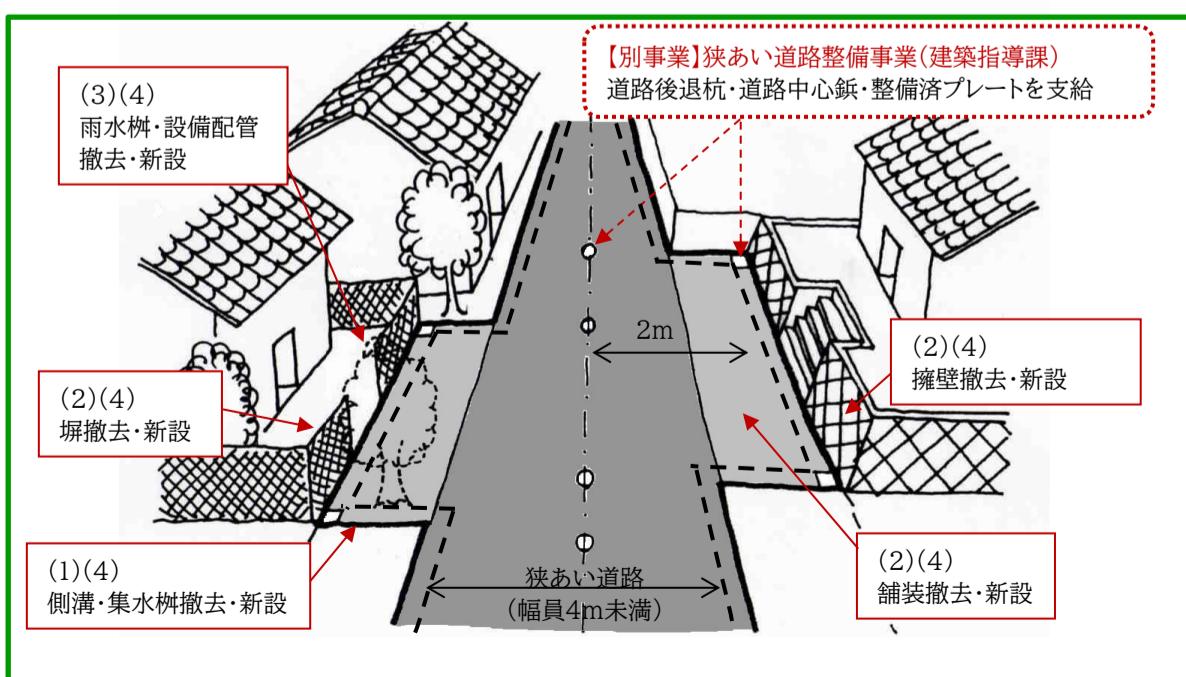


京都市に寄付することにより、道路内での2か所で沿道の所有者の協力をいただき、左上の写真のとおり、道路の拡幅整備が完成しました。今後も、引き続き、みんなが安全に避難できるまちを目指していきます。

こうした取組を経て、出水学区内の2か所で沿道の所有者の協力をいただき、左上の写真のとおり、道路の拡幅整備が完成しました。お話をいただいた方、ご協力いただきました皆さんに御礼申し上げます。



家の前のみちの拡幅について、少し話を聞いてみてもよいという方は、ぜひ京都市までお問い合わせください。



そこで、道路後退部分を、拡幅・用を補助する制度です。京都市に寄付する場合に、整備費

**出水だより**  
防災まちづくり版 第6号

発行  
出水住民福祉  
連合協議会  
出水学区自主防災会

空間を確保する事業を令和6年度から実施し、安全な市街地のまちづくりを推進しています。

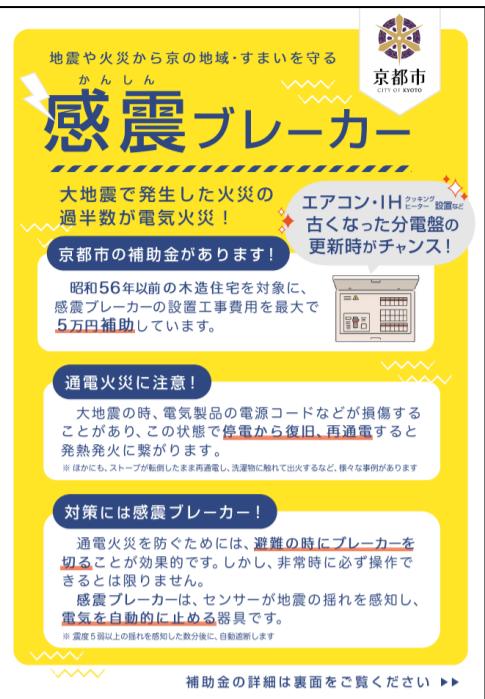
こみちに面する敷地を所有する方々に京都市職員が意向調査に伺いました。ポストに投函した資料をご覧いただいた方、アンケートにお答えいただいた方、ご対面でお話をいただいた方、ご協力いただきました皆さんに御礼申し上げます。

幅員 4 m 未満の道路に面した敷地では、建築に際して建築物や門・塀などを道路の中心線から 2 m 後退するよう義務付けられています。しかし、私的利用（駐輪場や花壇）は制限の対象ではなく、道路空間が拡がらない現状があります。

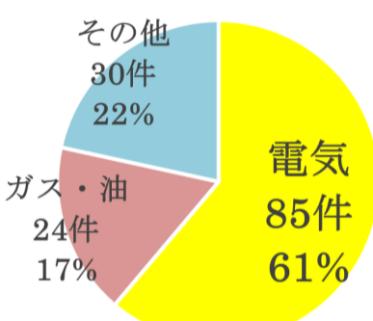
**密集市街地の「こみち改善事業」とは**

# 出水学区の安全・安心を守る「補助金」あります！

震災時は  
通電火災に  
ご注意を！



## 阪神大震災における火災発生状況



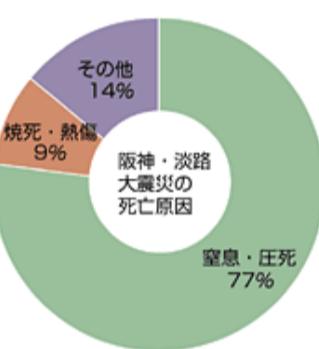
※出火原因が特定されたものに限る。

阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の半数以上が、電気による火災と言われています。震災時に発生する電気火災のひとつに、「通電火災」があります。通電火災を防ぐためには、震電ブレーカーが効果的です。震電ブレーカーは、地震の揺れをセンサーが感知し、ブレーカーやコンセント等の電気を自動的に止める器具です。

今年こそ、  
すまいの  
耐震化！



## 阪神・淡路大震災の死亡原因



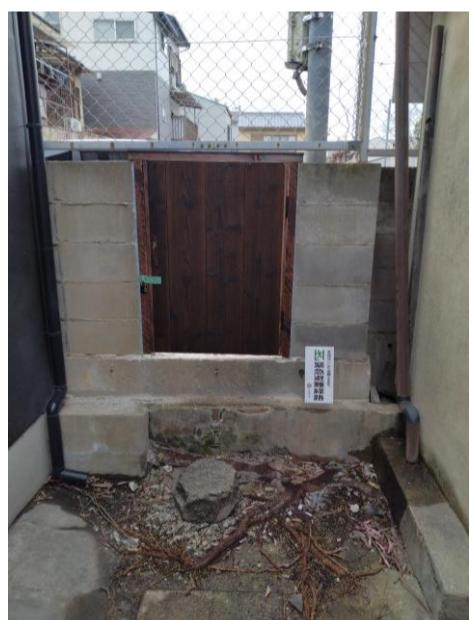
死亡原因として最も多い「圧死」を減らすためには、家屋の耐震性強化と家具転倒防止に取り組むことが大切です。

阪神・淡路大震災で亡くなつた方の原因是、「圧死」の方が大部分（約3/4）を占めています。

古い木造建物を除却したい！  
身近な防災ひろばを整備したい！  
古いブロック塀を改善したい！  
路地奥からの逃げ道が欲しい！

## 袋路の入口を安全にしたい！

出水学区には、たくさんの路地や傷んだ建物があり、地震時などの避難・消火・救助に支障をきたすおそれがあります。それぞれの路地の特性に応じた対応がいざという時の命を守ります。



袋路の多くに扉を設置  
(出水学区内)



傷んだ木造建物を解体して、その跡地に  
防災ひろばを設置（中京区）

12月7日に総合防災訓練を実施、今回は、初めての試みとして「楽しく防災」がテーマの「防災まつり」を併せて開催しました。

初開催！「防災まつり」も同日に

総合防災訓練を実施！



▲キッチンカーも大盛況！  
バケツリレーで競争！▶



▲「共助の活動の講習」と  
「町内でできる訓練」(防災訓練)

防災訓練164名、防災まつりには小学生だけで約100名、中学生は運営のお手伝い、小さなお子さんや一般参加の皆さんなど多数が参加。地域の中でお互いが知り合い「顔の見える関係」を作つておくことが「いつ起ころか分からぬ災害時の大きな力」になります。ご参加いただいた皆様の温かさを痛感した一日でした。